

令和4年度指定管理者評価シート

1. 管理運営の状況等

(1)施設名	老人福祉センター槻寿苑、槻寿苑デイサービスセンター
(2)施設概要	<p>①所在地 さいたま市岩槻区大字笹久保1393番地</p> <p>②施設の設置目的 【老人福祉センター】 高齢者に対して各種の相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与する。 【デイサービスセンター】 老人福祉法に規定する基本理念に基づき、老人デイサービスセンターの利用者の健康で安らかな生活の維持向上に寄与し、福祉の増進を図るための施設。</p> <p>③事業内容 ・老人福祉センター ・老人デイサービス事業(定員15人) ・生きがい活動支援通所事業</p> <p>④施設の概要 開設年月 昭和63年5月 延床面積 1,634.55㎡ 構造 鉄筋コンクリート造平屋建 一部鉄骨造</p>
(3)指定管理者	社会福祉法人さいたま市社会福祉事業団
(4)指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 令和2年4月1日～令和7年3月31日</p> <p>②指定管理料 令和2年度 83,198千円 令和3年度 84,230千円 令和4年度 86,377千円</p>
(5)施設の管理運営の内容	<p>①運營業務の状況(利用状況含む) ◇利用状況 老人福祉センター ・利用者数 35,417人(前年度 25,295人) デイサービスセンター ・利用者数 1,149人(前年度1,434人) ・稼働率31.1%(前年度39.5%) ◇業務実施状況 ・老人福祉センター ・新型コロナウイルス感染者数の状況を踏まえ、感染対策を行いながら、地域の高齢者に利用者の相互交流と教養の場を提供した。特に利用者の介護予防と健康増進活動を支援するため、ロコモ予防のための教室等を実施するなど、自主事業の充実を図った。また、利用者のニーズを把握するため利用者アンケートを実施し、サービス向上に努めた。 ・デイサービスセンター 介護保険利用者に対し、食事、入浴等のサービスを提供し安心して在宅生活を送ることができるよう支援した。また、介護保険サービスを検討している方やそのご家族に対しては、安心した在宅生活を送るための援助及び家族介護負担の軽減を図ることを目的に相談対応を行うとともにサービス内容等の説明を行った。</p>

	<p>②維持管理業務の状況 法令に基づく建物・設備の法定点検や維持管理を計画的に実施し、水道及び灯油、清掃等の管理は、毎日記録して確認を行った。感染拡大防止を徹底するため、「高齢福祉課所管市民利用施設に係る利用再開ガイドライン」に即した感染対策を行い、設備・器具等の消毒を実施した。衛生面においても施設内の環境整備・事故防止を徹底した。</p> <p>③その他の業務 老人福祉センター施設内のデイサービスセンター・居宅介護支援事業所（自主事業）と連携し、看護師による健康相談・ケアマネージャーによる介護相談を実施した。高齢者が日常的に利用できる社会資源の情報提供を行うとともに、生活相談を行った。地域包括支援センターとも連携し、地域の高齢者のための支援体制に努めた。</p>																																				
(6) 収支状況	<p>①収入</p> <table><tr><td>・老人福祉事業収入</td><td>62千円</td><td>（前年度 29千円）</td></tr><tr><td>・介護保険事業収入</td><td>11,650千円</td><td>（前年度 14,907千円）</td></tr><tr><td>・指定管理料</td><td>86,377千円</td><td>（前年度 84,230千円）</td></tr><tr><td>・その他の収入</td><td>19,235千円</td><td>（前年度 16,289千円）</td></tr></table> <p>②支出</p> <table><tr><td>・人件費</td><td>53,934千円</td><td>（前年度 47,886千円）</td></tr><tr><td>・事務費</td><td>2,372千円</td><td>（前年度 2,531千円）</td></tr><tr><td>・施設管理費</td><td>45,181千円</td><td>（前年度 38,660千円）</td></tr><tr><td>・事業費</td><td>8,295千円</td><td>（前年度 7,539千円）</td></tr><tr><td>・繰入金支出</td><td>6,147千円</td><td>（前年度 8,470千円）</td></tr><tr><td>・その他の支出</td><td>1,395千円</td><td>（前年度 8,149千円）</td></tr></table> <p>【自主事業】(居宅介護支援事業)</p> <table><tr><td>①収入</td><td>13,895千円</td><td>（前年度 12,435千円）</td></tr><tr><td>②支出</td><td>13,895千円</td><td>（前年度 13,199千円）</td></tr></table>	・老人福祉事業収入	62千円	（前年度 29千円）	・介護保険事業収入	11,650千円	（前年度 14,907千円）	・指定管理料	86,377千円	（前年度 84,230千円）	・その他の収入	19,235千円	（前年度 16,289千円）	・人件費	53,934千円	（前年度 47,886千円）	・事務費	2,372千円	（前年度 2,531千円）	・施設管理費	45,181千円	（前年度 38,660千円）	・事業費	8,295千円	（前年度 7,539千円）	・繰入金支出	6,147千円	（前年度 8,470千円）	・その他の支出	1,395千円	（前年度 8,149千円）	①収入	13,895千円	（前年度 12,435千円）	②支出	13,895千円	（前年度 13,199千円）
・老人福祉事業収入	62千円	（前年度 29千円）																																			
・介護保険事業収入	11,650千円	（前年度 14,907千円）																																			
・指定管理料	86,377千円	（前年度 84,230千円）																																			
・その他の収入	19,235千円	（前年度 16,289千円）																																			
・人件費	53,934千円	（前年度 47,886千円）																																			
・事務費	2,372千円	（前年度 2,531千円）																																			
・施設管理費	45,181千円	（前年度 38,660千円）																																			
・事業費	8,295千円	（前年度 7,539千円）																																			
・繰入金支出	6,147千円	（前年度 8,470千円）																																			
・その他の支出	1,395千円	（前年度 8,149千円）																																			
①収入	13,895千円	（前年度 12,435千円）																																			
②支出	13,895千円	（前年度 13,199千円）																																			
(7) 利用者アンケート等による 市民からの意見・要望等への 対応	<p>●老人福祉センター 意見箱「みなさまの声」の設置及び10月に「利用者アンケート」を実施し、常に利用者の意見・要望に耳を傾け、誠実に応えとともに取組可能な意見を積極的に取り入れた。また、意見に対する回答について、掲示や説明を行った。</p> <p>●デイサービスセンター 意見箱「みなさまの声」の設置、「利用者アンケート」の実施とともに、送迎時、訪問時、担当者会議の際に、ご利用者様・ご家族様からご自宅での様子、ご要望等、お話をお伺いする機会を設け、内容について対応、改善に努めた。</p> <p>また、ご利用者様・ご家族様、及び地域住民並びに関係機関が参加する運営推進会議においては、コロナ禍で2年間書面開催となっていたが、令和4年度は参集にて開催し、当施設の運営状況・感染対策及びご意見を伺い内容によっては口頭にて説明し、開催後は掲示も行った。</p>																																				
(8) その他																																					

## 2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
介護予防の促進・健康づくりの促進	<p>●老人福祉センター</p> <p>①デイサービスセンター看護師による健康相談を第2・第4金曜日に実施した。また、居宅介護支援事業所(自主事業)ケアマネージャーによる介護相談を第1水曜日に実施するとともに、随時相談を受け入れた。</p> <p>②ロコモ予防のための転倒予防教室やレク・ストレッチ教室・eスポーツ教室等を感染対策を行いながら実施し介護予防を推進した。</p> <p>③健康体操を毎日昼休みに職員と利用者が一体となってい、気軽に無理なく、2か月に一回、曲や内容を変えることで楽しみながら続けて参加できる運動として提供し、健康増進を支援した。</p> <p>④利用者を対象に、デイサービスセンター常駐の生活相談員による、介護の悩みに関する相談に常時対応した。</p> <p>●デイサービスセンター</p> <p>①新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止としていた併設の老人福祉センター内の苑内散歩や、イベントの見学等、徐々に制限の緩和を行い、交流を図った。</p> <p>また、自粛していた施設外活動においても、苑外散歩や健康福祉村でのお花見を実施し、機能訓練を兼ねた活動を行った。</p> <p>②苑内の活動においては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ソーシャルディスタンスを保つなど、感染予防を徹底し活動した。</p>
教養の向上・レクリエーション活動の支援	<p>●老人福祉センター</p> <p>新型コロナウイルス感染者数の状況を踏まえ感染対策を行った上で、大規模イベント、親睦グラウンド・ゴルフ大会、うた自慢大会、クラブ発表会などを3年ぶりに実施した。地域交流盆踊り大会については実行委員会を立ち上げ実施予定であったが感染者数の増加により中止となった。バス旅行、ありがとうコーナー等に関しても、実施検討をしていたが、感染対策が不十分として引き続き中止した。安全・安心な施設運営に配慮しながら、利用者の個別相談や団体への相談を行い、教養の向上・レクリエーション活動の支援に努めた。</p> <p>①教養講座として文化教室を感染対策を講じた上で開催し、ボランティア講師による手芸などの教養・趣味活動を行った。</p> <p>②デイサービスセンターと老人福祉センターと共同で消防避難訓練を実施した。</p> <p>●デイサービスセンター</p> <p>①利用者からのご意見やご要望を取り入れ、利用者が楽しんで参加できる行事・レクリエーションを職員で話し合い実施した。</p> <p>②施設内で楽しみながらかつ機能訓練を兼ねた輪投げ・ボーリング等のレクリエーションを実施した。</p> <p>③コロナ禍で2年間中止となっていた演芸大会の見学や、お花見、苑外散歩を実施し、通常行事以外の参加にて生活意欲の向上を図った。</p> <p>④夏祭りでの盆踊り、和太鼓体験や運動会、芋ほり体験等、季節にちなんだ行事を実施し、楽しみながら実感していただいた。</p>

### 3. 評価

#### (1) 指定管理者による評価

●老人福祉センターに関しては、感染症対策に関することを始め所長会議、実務担当者会議、合同研修(レベルアップ研修)等において常に情報共有・検討を重ね、どの施設を利用しても質の高い同様のサービスが提供できるよう努めた。

事業においては、感染症対策が緩和傾向にあり、利用者の要望を踏まえ安心・安全な運営を前提に行事・事業を常時検討しながら2事業(夏祭り・バスハイク)を除いては、感染症対策の関係で縮小ではあったが実施することができた。新事業としては、利用者嗜好の変化に合わせたeスポーツを毎月開催し、ゲームを通じて人とのコミュニケーションを築くことができた。

その結果、感染症対策における制限の中においても、感染症対策を行いながらいろいろな事業を実施してきたことについて、利用者からのまずは実施できた喜びの声が多く聞かれた。

利用者ニーズの対応については、新規利用者の送迎バスの停留所についての問い合わせが多くなっており、一部ではあるが乗降者が多い停留所については地図・写真などにて当施設のホームページに掲載をした。どのようにすれば利用者にわかりやすい情報提供ができるか次年度に提示ができるよう検討を重ねた。

●デイサービスセンターについては、介護保険施設として手指消毒、マスク着用、パーティション、利用者記録(座席・行動)等を感染症対策には常に慎重に対応した。また、感染症対策を利用者・家族に安心してご利用いただける施設として説明し、職員に対しても、毎朝のミーティングにおいて情報共有をすることで、正しい認識の下で利用者対応をした。

事業については、機能維持・回復を目的としたレクリエーション(工作・音楽鑑賞・製作活動)は利用者の希望及び楽しんで参加できるよう毎月内容を検討し実施した。事業計画の老人福祉センター行事(演芸大会等)への参加は今までは参加できなかったが、感染症対策の緩和に伴い、希望される方の見学に変更し、久しぶりの雰囲気満足されている方が多く見られた。その他のデイサービスでの行事は、感染症対策をしながら、内容を変更して可能な限り利用者が楽しみながら機能訓練ができるように努めた。苑外活動については年度末に下肢筋力の運動を兼ねて、苑外にて利用者全員を対象に「お花見」を実施した。

また、月末の利用報告において居宅介護支援事業所・包括支援センターへ書面ではあるが、担当されている利用者の現状・課題・提案等を送り、問題の早期発見につながるよう情報共有に努めた。

また、新規利用者の受け入れについては、常時見学等の対応を継続し、コロナ禍による外出に消極的になっている潜在的な利用者(下肢筋力の低下・精神的)の発掘として積極的に包括支援センター、居宅介護支援センター、老人福祉センター利用者へパンフレットを配布した。

●共通事項

施設管理においては、ガラスのひび割れ、給湯ポンプ水漏れ、浴槽内の手すりのぐらつきの修繕などの異常個所の早期発見に努め、修繕日程も休館日に行い利用者への影響を最小限にした。

経費に関しては、使用しない部屋の消灯・職員の修繕・ボイラーの停止時間(夏・冬)・庭園管理のボランティアに協力、修繕に関しても見積もりをすべて交換でなく、部品交換等で可能かどうか業者と協議するなど、削減に努めた。

#### (2) さいたま市の評価(評価担当課:福祉局長寿応援部高齢福祉課)

##### 総合評価(B)※A～D

##### 1 項目別の評価

##### (1)「市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進」に対する評価

・①「苦情解決体制制度」、②投書箱「みなさまの声」、③サービス向上担当者会議による「利用者アンケート」、④日々の窓口業務などを通じた利用者からの意見・要望の受付を継続して実施した。意見等への対応については、施設内に掲示し、わかりやすく周知した。また、利用者からいただいた意見を参考にして、各事業の内容の検討を随時行った。

##### (2)「経費の削減」に対する評価

・予算額と決算額との乖離が僅かであり、概ね適切であると評価した。(水道光熱費の高騰による影響は除く。)

##### (3)「適正な管理運営の確保」に対する評価

・老人福祉センターに関しては、各施設の所長会議、実務担当者会議、合同研修(レベルアップ研修)等で新型コロナウイルス感染症対策をはじめとする情報共有・検討を重ね、どの施設を利用しても質の高い同様のサービスが提供できるよう努めた点を評価した。

##### 2 総合評価

事業計画に沿って、適正に施設運営が行われている。

#### (3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

引き続き適切な管理運営に努めて下さい。